

一般社団法人 九州通訳・翻訳者・ガイド協会
2024理事改選通常選挙 立候補者情報

(氏名50音順)

候補者番号 ※50音順

9

立候補者 氏名

水谷 みずほ

ふりがな

みずたに みずほ

現役職

代表理事（会長）



現任期で理事としてやってきたこと及び実績：

2018年4月の総会設立時に会長に選出され、これまで6年間にわたりK-iTGの会長を務めてきた。協会設立から2年後の2020年3月から始まったコロナ禍においても、自らが技術系会議通訳者としていち早くデジタル化への移行（各種通訳業務のオンライン化への転換、オンライン通訳に対するスキルのトレーニング）を実践し、協会事業としてもオンラインツアーの英語指導、構成台本やスクリプト作成に取り組み、従業員の雇用を守るために様々なコロナ禍の危機を乗り越えてきた。

またコロナ禍の2021年10月に、長年の日本国内通訳案内士業界の懸案事項であった「日本通訳案内士団体連合会（JAGO）」を設立し、全国にある15団体のネットワークを固めて現在、同団体の専務理事を務めている。全国通訳案内士の地位向上、世界各国の団体との交流、業界団体や観光庁や国交省への提言活動を中心に行っている。

2021年2月に初挑戦したWFTGA（世界観光ガイド連盟の総会）誘致を、2回目の挑戦で勝ち取ったが、予選ラウンドにおけるオンラインでのプレゼンからシシリーでのメインプレゼンターおよびWFTGA本部との連絡調整役を務めてきた。

次期任期の理事としてできること、やってみたいこと（マニフェスト）：

- ① 会員さん一人一人のスキル&キャリアアップに向けた人材育成講座や機会の創出とその監修
- ② 会員さんのための業務機会拡大と国や自治体からの事業受注増加および実施
- ③ WFTGA2026における受入団体理事として、オーストリア本部やWFTGA理事メンバー、世界各国のガイド連盟とのやり取りや連絡・相談窓口。WFTGA2026の成功に向けた取り組み。
- ④ 通訳案内士、会議通訳者としてキャリアを追及すると同時に、後進の育成やメンター的役割。全国通訳案内士の数を増やすための取り組みおよび国との折衝。
- ⑤ 経営者感覚、有言実行の高い実践力、世界とのコミュニケーション力、発信力を生かした協会運営

その他コメント：

一人でも多くの現職の理事が同じ目標に向かっていけることを祈っています